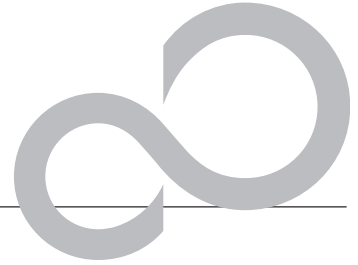


● PRIMERGY
 ● 取扱説明書
 ● LAN カード
 ● (PG-2871)



はじめに

このたびは、弊社の LAN カード (PG-2871) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、LAN カード (以降、本製品) の仕様について説明します。

LAN ドライバの詳細設定については、最新の LAN ドライバのマニュアルを参照してください。

2010 年 8 月

目次

1 LAN カードの仕様	2
2 本製品の取り付け	3
3 LAN カードのテスト	5
4 LED の表示	6
5 注意事項	7

Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
 Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
 Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010

1 LAN カードの仕様

本製品は、IEEE で標準化された 10/100/1000BASE-T の仕様に準拠した LAN インタフェースを 4 ポート持つ PCI-Express バス対応カードです。
本製品の仕様は、次のとおりです。

■ 仕様

項目	仕様
品名	Quad port LAN カード (1000BASE-T)
型名	PG-2871 / PGB2871 / PGB2871L
LAN コントローラ	Intel® 82580EB
規格	IEEE802.3 準拠
ホストバスインタフェース	PCI-Express 2.0 (x4 lane interface)
ネットワーク種類	10/100/1000BASE-T (4 ポート)
ケーブル	カテゴリ 5 / カテゴリ 5e
コネクタ	RJ-45
カードサイズ	カード長：120.0mm、カード高：68.6mm (基板サイズ)
ブラケットサイズ	Full Height / Low profile
消費電力	通常時：4.2W、最大時：5.5W
Teaming	使用可能
WOL	サポート
添付品	<ul style="list-style-type: none"> ・『LAN / ファイバーチャネルカード製品の取り扱いについて』 ・ Full height ブラケット ・ Low profile ブラケット ・ ネジ：1 個

■ VMDq (Virtual Machine Device Queues)

本製品は、仮想スイッチの処理の一部を LAN アダプタで実行させる VMDq の機能に対応しています。従来では、ハイパーバイザが個々のデータパケットをソートし、仮想マシンに転送する必要があり、この処理は多くの CPU 負荷をかけてきました。VMDq では、ソート機能を LAN カード内の専用ハードウェアで実行することで、ハイパーバイザはあらかじめソートされたパケットグループを適切なゲスト OS にルーティングするだけになるため、I/O ボトルネックが軽減されます。

■ アダプタのチーム化

チーム化はネットワークサービスの 1 つで、複数のアダプタを組み合わせ、フォールトトランスや負荷分散を行い、信頼性や性能を向上させる機能です。

2 本製品の取り付け

本製品を取り付けるときは、次の点に注意してください。

警告



- ・ 本製品の取り付けや取り外しをするときは、各装置（サーバ本体、周辺装置など）の電源を切り、電源コードをコンセントから取り外してください。電源ケーブルを取り付けたまま作業を行うと、感電の原因となります。
 - ・ 本製品の取り付けが終了してから、サーバ本体に電源コードを接続してください。
-
- ・ 本製品の取り付け手順については、取り付けるサーバ本体に添付のマニュアルを参照し、記載されている手順に従って正しく取り付けてください。
 - ・ サーバ本体によっては、使用方法が制限されている場合があります。

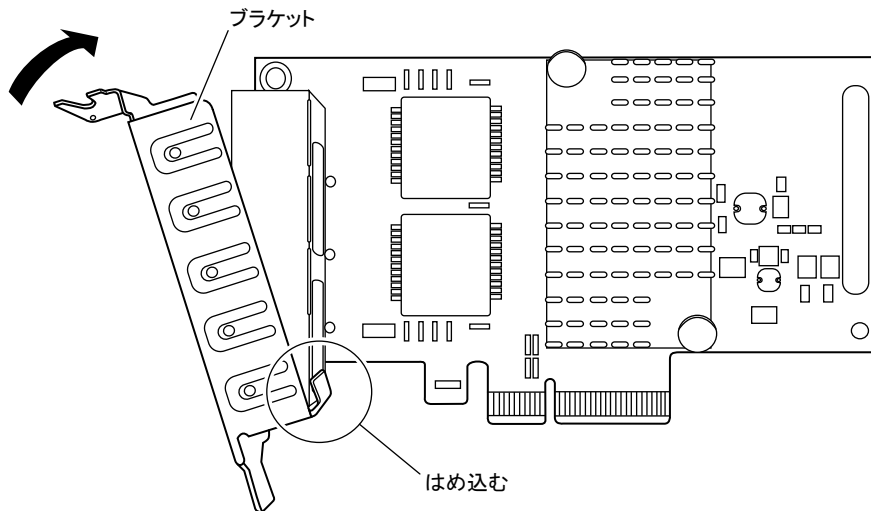
■ ブラケットの取り付け／取り外し

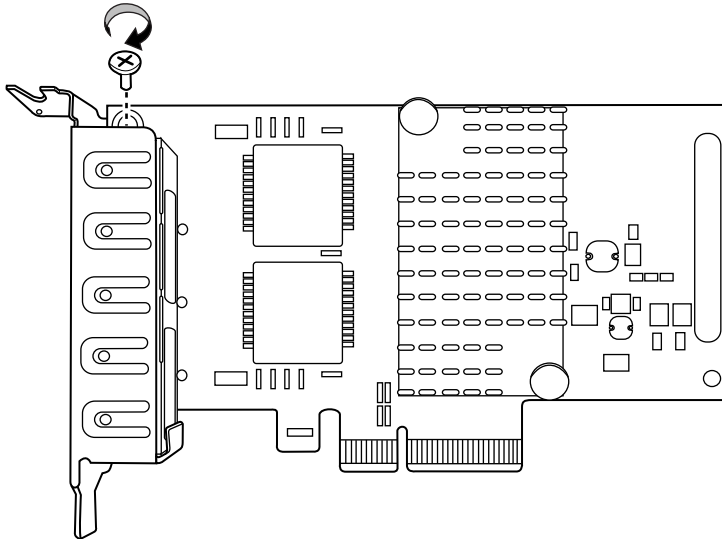
ブラケットの取り付け／取り外し方法は、以下のとおりです。

● ブラケットの取り付け方法

1 本製品に添付のブラケットを取り付けます。

図のようにブラケットをはめ込んで取り付けてください。



2 添付のネジで固定します（1箇所）。**●** ブラケットの取り外し方法

ブラケットの取り付け時と逆の手順で取り外します。

■ PCI カードの搭載位置について

搭載可能な PCI スロット位置は、取り付けるサーバ本体によって異なります。必ず弊社インターネット情報ページ (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) の「システム構成図」を参照し、搭載可能位置を確認してください。

本製品の取り付け手順については、取り付けるサーバ本体の『オプションガイド』を参照し、記載されている手順に従って正しく取り付けてください。

3 LAN カードのテスト

LAN カードのテストは、次の手順で行います。
なお、本手順は Windows でのみ実施可能です。

- 1 管理者権限でログオンします。
- 2 デバイスマネージャで、使用する LAN アダプタをダブルクリックし、Intel[®] PROSet を起動します。
- 3 [リンク速度] タブをクリックします。
- 4 [診断] をクリックします。
- 5 診断する項目のタブを選択して、[テストの実行] をクリックし、LAN アダプタのテストを行います。
「接続」および「ケーブル」テストは使用できません。

■ エラー発生時の対処について

LAN カードのテスト中にエラーが発生した場合、次の方法で対処してください。

- LAN カードが正しく PCI スロットに搭載されているかを確認してください。
- ケーブル、スイッチの接続環境を確認してください。

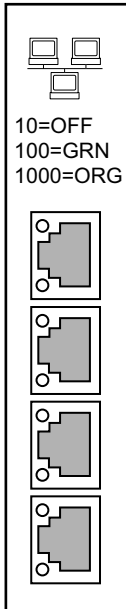
上記の対処後もエラーが発生する場合は、修理相談窓口に連絡してください。

4 LED の表示

LAN カードが正常に動作しているかどうかは、LED で確認できます。

■ LED の表示

LAN カードが正常な場合、LED の状態は次のとおりです。



LED	LED の状態	LAN カードの状態
ACT/LNK	消灯	リンクが確立されていない。
	点灯（緑）	スイッチ、ハブとのリンクが正しく確立されている。
	点滅（緑）	データ送受信中。
10 = OFF 100 = GRN 1000 = ORG	消灯	カードが通信速度 10Mbps で動作している。
	点灯（緑）	カードが通信速度 100Mbps で動作している。
	点灯（橙）	カードが通信速度 1000Mbps で動作している。
	点滅（橙）	Intel® PROSet の「アダプタを識別」でカードを点滅させている。

■ LED が点灯、点滅しない場合

LED が点灯、点滅しない場合は、次のことが考えられますので、確認してください。

- LAN ドライバがインストールされているか確認してください。
- スイッチ、ハブとの接続を確認してください。
- スイッチ、ハブの別ポートを使用してください。
- ネットワークが無通信状態の可能性があります。通信相手からのログインを試してください。
- リンク速度とデュプレックス（自動検出／全二重）の設定を確認してください。

5 注意事項

本製品をお使いになる前に、次の注意事項をよくご確認ください。

■ ドライバおよびユーティリティの追加について

● Windows の場合

最新のドライバを、次のインターネット情報ページからダウンロードしてご利用ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

「ダウンロード検索」ページにて、搭載サーバの製品名、型名、およびご使用の OS を選択し、検索してください。

● Linux の場合

適用カーネル版数に応じた ServerView Install Manager、アップデートキット、ドライバキットをご利用ください。詳細については、次のインターネット情報ページをご覧ください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/technical/>

■ Red Hat Enterprise Linux のサポートについて

本製品は、次のバージョン以降の Red Hat Enterprise Linux でサポートされます。

- Red Hat Enterprise Linux 5.4 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5.4 (for Intel64)

なお、Red Hat Enterprise Linux 5.4 および Red Hat Enterprise Linux 5.5 で本製品を使用する場合は、ドライバの適用が必要となります。ドライバの公開サイト (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>) を参照して、ドライバのインストールを行ってください。